

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

E-mail sodan@jrtu.or.jp

東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95

JR東海品川にJR6階号

(03)6718-1251

名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13

(052)586-3127

JR東海ユニオン

(1部20円)組合員の購読料に含む

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 宮崎 勝典



第38回定期中央委員会を開催！



～当面の活動方針を満場一致で決定～

2月7日、ホテルアソシア静岡にて、第38回定期中央委員会を開催した。先の定期大会で確認したスローガンに加え、《安全・安定輸送の確立、2024春季生活闘争勝利、さらなる組織強化・拡大》として掲げたサブスローガンと、当面の活動方針を満場一致で決定した。

委員会では、2024春季生活闘争の取り組みや「UNION FUTURE 2027」に基づく、詳細な当面の活動方針等が提起され、20名の中央委員、特別中央委員から力強い補強意見が示され、最後に、尾内中央執行委員長による団結カンパニーにより締めくくった。

本中央委員会では上期の運動を振り返った中、下期における運動の意思統一を図る重要な委員会である。特に、2024春季生活闘争の方針を決定する重要な機関会議である。これから提起する当面の重点活動並びに全ての議案に対して積極的な討議を要請する。

「安全の確立」については、残念ながら、上期において「東海道新幹線米原駅構内で発生した感電墜落災害」が発生し、新幹線地方本部と連携して申し入れを行っている状況である。また、詳細な議論は出ていないが、背後要因を含めた具体的事実が確定次第、労使協議を行っていく。安全の確保は、組合員一人ひとりが「自分自身が不安全な行動を起こすかもしれない」という思考を持ち、考動して初めて得られるものであることから、これからは「アサーション+」として進化させ、「あなた自身が動かなければ事故はなくならない」をキーワードに「自分には何ができるか(ジフングト)」を強く意識した取り組みを展開していく。

「ハートフルカンパニーの実現」に向けては、各級機関並びに組合員と緊密に連携して、進むべき方向を見定めるとともに、これまでの労使交渉や政治政策活動等において得られた知見を広く共有化した上で、各種労使協議を展開し、その経過について再び組織内での議論を図るといふ、課題解決に向けた好循環による、具体的提言「ハートフルカンパニービジョン」↓「2027」の実現に向けて不断に取り組んでいく。

「2024春闘」については、将来を見据えた経営体力の再強化に基づく更なる変革への対応に取り組む、将来に向けた3世代鉄道の構築も合わせ、「将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せ実現」に向けた、責任組合として交渉を果たし続けて行く。また、JR東海グループ全体において、人材の確保が持続できる魅力ある労働条件としていくことが肝要である。こうした観点から、2024春季生活闘争では、組合員の弛まぬ努力により、この間の厳しい経営状況や環境も乗り越え、経営が大きく回復したことを踏まえつつ、現在の物価上昇への対応は勿論のこと、未来を見据えた賃金面での前進を図ることを基軸に、制度や福利厚生等のあらゆる労働条件の向上を目指す、総合生活改善に資する闘いをあらためて強固に打ち出し、組織の総力を挙げて力強く取り組んでいく。

結びに、引き続き下期の活動を組織一丸となって取り組むとともに、2024春季生活闘争で大きな成果を収めるよう、JR東海ユニオン「ONEチーム」となっており、ともに頑張ろう。



尾内中央執行委員長あいさつ (要旨)